令和７年度　稲沢市地域自立支援協議会　第１回権利擁護推進部会　議事要旨

【日　時】令和７年５月13日（火）午後２時～午後３時10分
【場　所】稲沢市役所　東庁舎１階　会議室８
【出席者】権利擁護推進部会委員　５名　事務局　６名
【欠席者】１名

あいさつ（新委員・部会長）
１　協議事項
（１）障害者虐待事案の対応検証（事務局から報告）
　１）虐待ケースの報告
部会長　№14は、障害者が他の障害者を殴ったということだが、ケガなどはあったのか。
事務局　押し倒しただけで、ケガはなかった。
部会長　障害者の人が他の利用者を殴ったのであれば、施設職員の行動と同じことではないか。
事務局　実際に殴ったという事実はあるが、そこまでの視点はなかった。
部会長　また、以前、稲沢市は障害者虐待数が少ないのでは、と指摘があったがどうか。
事務局　比較的少ない。自治体によっては、虐待通報による聞取りした事実で認定しているところもある。
部会長　認定の基準があるわけではないのか。人口比ではどうなのか。
事務局　今月末の県の担当者会議で昨年度の実績が示されると思われる。
部会長　№12は、障害者の名前を騙って借金している疑いがあるが、犯罪ではないか。
事務局　生活安全課に相談に伺ったところ、療育手帳Ａ判定の重度障害のかたで、被害を受けた認識がなく、仮に被害届を出しても調書は作れないという話だった。母親は、家庭裁判所からの通知について知らないと言っているため、これ以上、調査は難しいと判断した。
部会長　また、同じようなことが起きてしまうのではないか。
委員Ａ　こういう件は非常に難しい。お金を貸す側の審査が甘いところもある。
事務局　虐待に関連して、ニュース等で報道があったグループホームに入居していた４名のその後について、１名は別の施設に移られた。３名は継続して暮らしている。今後、相談支援専門員の協力を得て意思決定支援会議を開き、暮らす場所について市や基幹センターも把握していく予定。また、１月から３月までの間に虐待通報が８件あった。他の月に比べても多く、施設への聞き取りをすると、研修が実施できていない状況があったため、虐待に関する研修を考えている。ご意見等あればいただきたい。

（２）障害者差別解消支援地域協議会としての取り組み（地域における理解促進等）（事務局から説明）

１）昨年度の活動について

部会長　庁内から集まった事例について解決に関して何か困ったことなどはあったか。

事務局　各部署で対応し解決できた。更に発掘していけたらいい。

２）今年度の活動について

事務局　差別に関する事例は、庁内以外でも集められたらという話があった。

部会長　学校や企業などか。（はい）

部会長　去年はチラシを配っただけで、説明は行っていないのか。

事務局　園長会と小学校の会議では、少し時間をいただき説明をした。

部会長　障害児保育をやっている担当者など現場の人の所に行くと良いのではないか。

委員Ｂ　耕すのはとても良いことだ。話は全く別だが、ダウン症の赤ちゃん体操をずっとやっているが、ダウン症の子の出生率は低くなっている。そもそも子どもの出生率が低くなってきていることもあるが、寂しく思う。障害とは何かと考えると、メガネをかけている子や、歳をとって耳が遠い人に対して、障害者扱いなんかしない。そう思うと、差別とは何だろうと思う。

委員Ｃ　庁内から事例を集めたのは昨年度だけか。

事務局　調査は昨年度初めて行ったものである。

委員Ｃ　声をあげられない人はもっといるかもしれないので、もっとやるといい。
障害者枠で採用のかたが対象という感覚で受け取ればいいのか。

部会長　手帳があるなしは関係ない。

事務局　この調査は、市の福祉課として、市民からの申出に対してどのような合理的配慮を行ったか、どこが上手くいかなかったか、などを挙げるよう依頼した。市民対応の部分が増え、合理的配慮をこうしたというものが挙がるといい。

委員Ｃ　皆が気持ちよく働ける一助となるといい。

委員Ａ　若い人のほうが、差別を柔軟に考えているのではないかと思う。

事務局　取り組みについて、ご意見があれば後ほどでもいいのでご連絡いただきたい。
今年度の活動案として、保育園や小学校などより現場に近いかたから、対応事例を集めていけると良い。中小企業家同友会での差別解消の周知も、事例の相談等につながると良い。地域の団体や民生委員、消防に働きかけ、周知できるといい。

部会長　まちづくりや区長もある。

事務局　ケーススタディについては事務局で用意できる。庁内の対応事例は今年度も継続でいいか。（異議なし）啓発活動はどうするか。次回またご意見をいただきたい。

（３）性に関する取り組み

・講座事業の検証等（事務局から説明）

委員Ｂ　やさしい性教育をしてくださるかたが引き受けてくださってよかった。

事務局　講座は平日より休日に行ったほうがいいか。

委員 Ｂ　どちらでやっても、皆さんお忙しいと思われるため、あまり差はないのではないか。